

二十四節気 **立春 雨水**

(2月2日) (2月18日)

七十二候 **魚水上** (うおこおりをのぼる)

(2月13日)

土脉潤起 (つちのしょううるおいおこる)

(2月18日)

1 季節の移ろい 三寒四温を繰り返しながら少しずつ春に向かう季節です。

若芽



ゴマギ 胡麻木
葉に触ると、胡麻のよ
うな芳香があります。

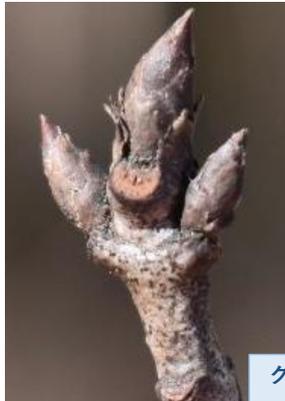
ウグイスカグラ 鶯神楽
葉柄の基部が広がったもの
が残っています。神楽の舞
台のよう？

ノイバラ
野茨

スイカズラ 吸葛 忍冬 (ニンドウ)
葉を丸め、冬の寒さや乾燥に耐え忍ん
できました。

ニワトコ 接骨木
昔、枝や幹が骨折の湿布薬に使
われたのでセッコツボクの名が付
いたとのこと。
ハリポッターには「ニワトコ
の杖」が登場。万葉集には「迎
へ」の枕詞として「山たづ (ニワ
トコ)」が使われた句があり、ま
た、対生の葉が、たづ (鶴の歌
語) の姿に似ることから「たづの
木」と呼ぶ地域もあるそうです。

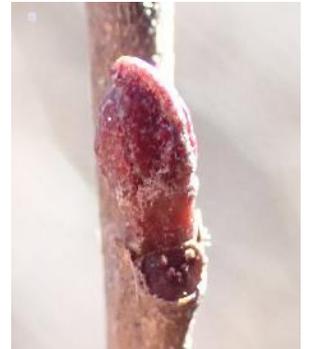
冬芽 陽光を浴びて、葉を展開する時期を待っています。葉痕を顔に見立てると木々の声が聞こえてきそうです。



クロツバラ 黒つ薔薇



ズミ 酸実 栴



ハンノキ 榛の木



ヤマコウバシ 山香ばし
新しい葉が出るまで、昨
年の葉を保っています。



シロダモ 白だも
常緑樹であるシロダモの
冬芽も、葉を展開させる
時期を待っています。

音楽 昨年の果実



ミスタマソウ 水玉草
果実の棘の先が曲がっている！
これは、動物の毛や服に引っ掛かりやすい形？!



ハンノキ 榛の木
大きな丸い松かさのような形のもの
が昨年の果実。
垂れ下がっているのは雄花序。
雄花序の基部に、小さな雌花序が出
ていて、これが実ると秋には松かさのよ
うな形の果実になります。

2 **ヌマガヤの生育ヶ所確認** 先月のこんぶくろ池や水路周辺での調査に続き、今回はふじ池周辺で調査を実施しました。

ふじ池周辺で、約150株のヌマガヤを確認。

ヌマガヤ : RDB 千葉県; 重要保護生物 (B) 絶滅危惧 I 類 環境省; -
千葉県にあることが珍しく、貧栄養性湿地に生えるイネ科の植物。



叢 (くさむら) 状に生える特徴があります (叢生)



花期は8~10月。まだ花穂が残っています。花期の時期の違いも、周辺に多いカササゲとの相違点です。



コバギボウシ

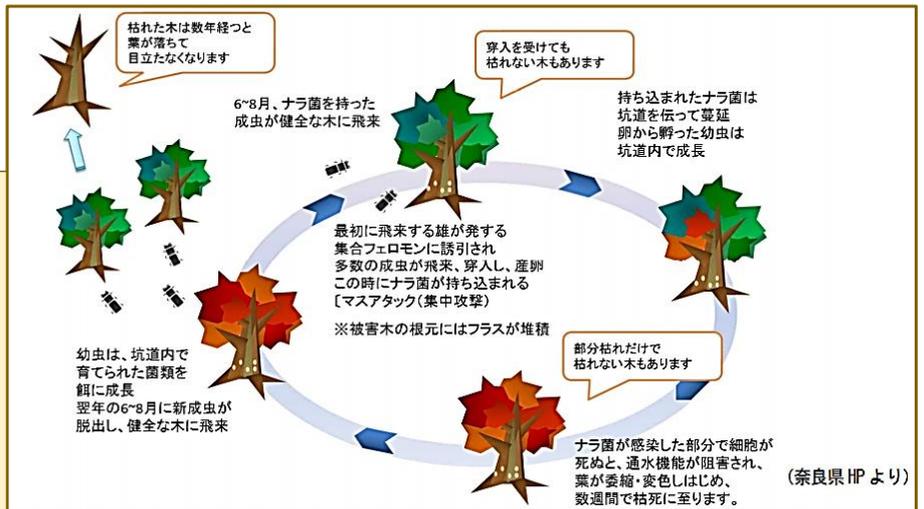
ふじ池周辺では、明るい湿性環境を好むとされるコバギボウシが多数生息しています。また、ヌマガヤ同様、千葉県で生育していることが珍しいズミも、この周辺に複数あります。

3 **ナラ枯れ** 2020年8月にナラ枯れ被害木が見つかり、その後に確認できた被害木だけでも約50本に及び、そのほとんどがコナラの老齢木でした。

以下は、日本森林技術協会「ナラ枯れ被害対策マニュアル」より抜粋

●ナラ枯れ (正式名称: ブナ科樹木萎凋病) は、ナラ類、シイ・カシ類の樹木を枯らす病原菌と、その病原菌を媒介する昆虫とによる「樹木の伝染病」です。病原菌は「ナラ菌 (ラファエレア菌)」と呼ばれる糸状菌 (カビ) の仲間で、媒介昆虫は体長5mmほどの甲虫、カシノナガキクイムシ...

●高齢・大径化した森林の若返り (持続的な伐採・活用) により被害を受けにくい森林づくりを行うことでナラ枯れ被害を減少させる効果があると考えられています。



右図および以下は、千葉県「ナラ枯れについて」より抜粋

ナラ枯れのメカニズム

カシノナガキクイムシは、6~7月にナラ類に穿入し産卵しますが、その時にナラ菌が樹体内に入ります。集中的に穿入された樹木は、ナラ菌の作用により辺材部の通水機能を失い、8月頃に葉が赤褐色に変色します。

カシノナガキクイムシの幼虫は樹体内で成長、羽化し、翌年6月頃ナラ菌を持って飛び出し新たに健全な樹木を探し穿入します。

被害の状況は柏市に報告済みです。今後、柏市によるナラ枯れ対応策が実施されてゆく予定です。

伐採予定木

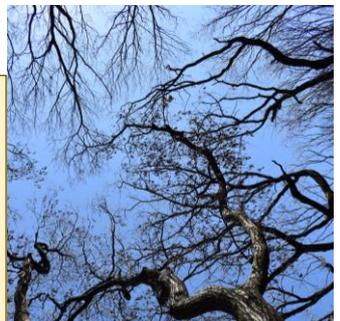


幹の下方に、カシノナガキクイムシがあげたとみられる穿入孔 (穿入する際にあげた小さなあな) が集中しています。



穿入孔は、数字付近よりも上部にまで及んでいます。

周辺の木は落葉していますが、この被害木は落葉していません。ナラ枯れにより通水できなくなって葉が枯れただけでなく、冬を迎えても落葉することができなかったようです。



カシノナガキクイムシの脱出防止と、新たな穿入などの防止のために、ガードネットを巻かれた木



穿入の被害を受けても枯れていないとみられる木。周辺の木と同様、落葉しています。



ガードネットが、穿入孔の分布する範囲を根元からしっかりと覆っています。

多数の穿入孔ができると、カシノナガキクイムシ以外の生物からも被害を受けやすくなり、木が弱ってゆきます。

昆虫採集にもってこいの樹液を出すクヌギの木も、若くない木。虫にアタックされ出た樹液に多くの虫が集まりますが急激に木は枯れません...

(写真: 藤原俊和 上田真佐江)

参加人数	5名
------	----